

リスクマネジメント部会及びリスクマネージャーの紹介

市立大津市民病院では、医療安全管理対策委員会の下部組織としてリスクマネジメント部会があります。インシデント・アクシデント防止対策のための具体策を検討、協議し、安全で清潔・良質な医療を提供するため設置されています。部会長は青木副院長、副部会長は光吉院長補佐、専従医療安全管理者（日向美和子看護師）と医師17名、医療技術局6名、看護師17名、事務部門1名で構成されています。

各部署のリスクマネージャーが部署の日常業務におけるリスクマネジメントを行い、毎月のリスクマネジメント部会では情報共有や改善策についての意見交換を行います。また、4つのグループで年間を通し活動を行っています。



ただいま
グループワーク中



副部会長（院長補佐/外科）
光吉明

部会長（副院長/放射線科）
青木悦雄

昨年に引き続き、「マニュアルグループ」「せん妄対策グループ」「職場巡視グループ」「広報グループ」で活動しています。昨年は1年間の活動報告を医療安全研修会の一つとして2月に発表しました。今年も行います。

マニュアルグループ

院内統一した持参薬取り扱い方法マニュアルが運用できるよう取り組んでいきます。

職場巡視グループ

各部署の巡視を行いマニュアルの遵守状況を把握します。

せん妄対策グループ

電子カルテ上のせん妄シートの利用状況と有効性の評価をし、「認知症・せん妄ケアチーム」と連携し、介入効率化の方法を検討していきます。

広報グループ

「リスクマニユース」を通してリスクマネージャーの活動と医療安全推進週間の案内を院内の職員にアピールします。

市立大津市民病院大学レポート

第4回 健康講座

平成29年10月12日（木）14時～15時、市立大津市民病院9階大会議室にて、平成29年度第4回市立大津市民病院大学健康講座を開催いたしました。講師は、当院医療技術局長/薬剤部薬剤長 中山英夫薬剤師、テーマは「知って得する薬の話」で、院内5名、院外66名の計71名の方にご参加いただきました。

講師からは、「薬との安全なつきあい方」を中心としたお話の後、「ポリファーマシー」についてのお話がありました。

ポリファーマシーとは、直訳すると「多くの薬」という意味で、現在患者ひとりに処方される薬の量が多いことが社会的な問題となっており、解決するのは難しいが、そんな中でも患者としてできる5つのことがあるといった内容でした。

受講後アンケートでは、「今飲んでる薬を見直そうと思った。」「お薬手帳を1つにまとめてみようと思った。」「薬は大切だが、医師としっかりコミュニケーションをとることでポリファーマシーの問題が少しでも解決できるかもと思った。」などの意見をいただきました。

